

会長より一言

この号の内容:

会長より一言

1

Wannda 先生特別講習会
開催

2

トピックス

腰痛と Fear Avoidance
Model

3-5

インストラクター

インタビュー

6-7

第1回日本徒手療法学会
症例発表募集

8

研修会アナウンス

9-10

書籍紹介/入会案内

11

このたび起きました東北関東大震災の被災地の皆様にお見舞いを申し上げます。

昨年、本会からも日本理学療法士学会で演題を提出し発表しました。現在、次の学会(国内・国際)に向け、前回からの続きである「姿勢離開における頸椎椎間孔の形態測定」について継続してデータ収集・まとめをしています。さらに、新たな研究として日常実践で使用している腰椎モビリゼーションについて「腰椎モビリゼーションによる効果の検証(仮称)」としてデータを収集・まとめをしている最中です。臨床研究として我々が実践している治療効果を少しずつ検証し、理学療法の基礎としての実績を積み重ねていくことで将来に続きます。上記2研究は、目的が非常に明確であり(研究のための研究ではありません)、臨床家の質の向上に貢献するものであると考えられるため、最低でも国際学会での発表を視野に入れていきます。結果がまとまったときには会員の皆さまにはご報告したいと考えています。

今回のニュースレターにはインストラクター・インタビューがあります。米国セントオーガスティン大学筋筋膜講習会(MF1)講師である Rob Stanborough 先生に筋筋膜についての現状を聞いています。その中で、近年では手技の土台となる根拠が証明されつつあることを述べられています。これは、臨床をする方にとって非常に心強いメッセージであります。是非、ご覧ください。

毎年、約 13,000 人の理学療法士が入学しています。しっかりした土台があることで各々の理学療法士が成長できます。しっかりした土台を作るためにも1つの手技に固執せず、機能解剖を重視した教育を提供していきたいと考えています。

今後も会員の皆さまからご協力をいただき、これまで以上に臨床・教育そして研究をおこない理論的な徒手理学療法を発展させていく所存でございます。また、我々一人一人が責任ある行動をすることが今回の大地震で被害を受けられた方への励みにもなるかと思えます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

佐藤友紀

日本徒手療法学会 特別講演会 開催

米国徒手療法教育の実際 根拠とその応用

『Using Evidence to Develop Manual Therapy Education
in United States Physical Therapy Programs』

講師: Wanda Nitsch, PT, PhD (University of St. Augustine 学部長)



University of
St. Augustine
学部長
Wanda Nitsch,
PT, PhD

平成 22 年 9 月 12 日に大阪(大阪医療福祉専門学校)にて、米国理学療法協会の教育局の幹事としても携わっておられる Wanda 先生をお招きし、米国徒手療法教育の実際について御講演いただきました。司会には日本理学療法士協会副会長、内山靖先生にお願いしました。

講習会では日本では中々聞くことができないセントオーガスティン大学での教育現場・臨床実習教育についてのご講義や、臨床場面でも役立つようにエビデンスの見方や使い方、更に実技を含めてご享受いただきました。講演会中の質疑応答も多く、大変盛況のうちに終わることができました。

来日していただいた Wanda 先生を始め、ご参加いただきました多くの先生方に感謝申し上げます。



講師: Wanda Nitsch 先生(左)

通訳: 佐藤 友紀 先生(右)

腰痛と Fear Avoidance Model



副会長

増井 健二

【はじめに】

日常の臨床場面において、痛みを強く訴え痛みに固執していると思われる症例に遭遇することはないでしょうか？ 急性期を脱し組織の損傷が回復していると思われる時期になっても痛みが治まらず、動作レベルが改善しにくい症例と遭遇することはないでしょうか？ 動作レベルが改善した翌日、痛みがぶり返し動作レベルが逆戻りになってしまったことはないでしょうか？

そのような症例はいわゆる「Fear Avoidance Model(不安回避モデル:痛みに関連する不安から動作を回避する思考を呈するモデル)」と言われる状態に陥っている可能性があると思われる。今回は腰痛患者における Fear Avoidance Model についての文献を紹介する。

* 詳細につきましては会員専用のニュースレターをご参照ください

インタラクター・インタビュー

平成 22 年 7 月 18 日 MF1 講習会期間

語り手: Rob Stanborough (MF1 インストラクター)

通 訳: 佐藤友紀

聞き手: 増井健二



Q1. 徒手療法を学ばれたきっかけについて、お教えてください。

私は理学療法士になるため 4 年間オランダの大学で学びました。そこで徒手療法の授業を受けたことが、はじめて徒手療法を学んだきっかけです。卒業しアメリカに帰国し、臨床に従事しましたが、3 年目のときに学生時代に学んだ徒手療法が十分に行えていないことに気がきました。

そのとき、St. Augustine 大学の Manual Therapy のコースに参加しました。受講後、患者さんの多くの病態に対応できるようになりました。それまで対応できなかった患者さんにも対応できるようになりました。結果として患者さんの状態も受講前に比べ良かったと思います。

Q2. MF1 講習会のインストラクターになられた経緯について、お教えてください。

自分からインストラクターになりたいと言ったことは一度もありませんでした。パリス先生から声をかけられました。パリス先生が声をかけてくれた背景には、私は先ほど言ったように、オランダの大学で理学療法を学びました。当時、アメリカの大学では学内教育の中で、マッサージにそれほど多くの時間を費やしていませんでした。私はオランダの大学でマッサージの授業(講義・実技)を 1 年間学んだ経験がありました。筋・筋膜に対する知識と技術を共有し発展させられるのではないかとということでパリス先生は声をかけてくれました。このような背景がインストラクターになる経緯です。

日本で MF1 のコースで来日するのも 5 回目になりますが、それに関してもパリス先生が、日本でも知識と技術を共有してはどうか、と声をかけてくれました。

Q3. 筋・筋膜に関して最新の知見について、お教えてください

理学療法士や医師、科学者、カイロプラクター、マッサージセラピストなど多くの職種が参加する筋・筋膜に関する学会では、近年、新しい治療手技や方法が述べられるのではなく、この約5年間は、今まで我々が行ってきたことを証明する根拠が明らかになってきていることだと思います。

例を挙げますと、癒着の存在や、癒着が Manipulation によって改善することが超音波画像などで証明されています。またトリガーポイントの存在についても証明されました。

また、その学会で日本の研究者も素晴らしい発表をしています。

Q4. 日本では Anatomy Train が話題となったようです。米国でも同様でしょうか？

(その著者が述べているような、筋・筋膜の連結についてどのように考えるべきか。)

私も日本に来て、日本の受講生の方から質問を受けることがあり、その時に知りました。毎回のように質問を受けるので、数年前、アメリカでその講習会を受講しました。受講生で理学療法士は私1人だけで、マッサージ・セラピストやカイロプラクターがほとんどでした。アメリカでは理学療法士には浸透していないと思います。

解剖学に基づいては述べられていましたが、それ以外の理論的な説明はありませんでしたし、科学的な根拠は示されませんでした。考えについては興味を持ち易いかもしれませんが、根拠については疑問が残りました。

それ以上のコメントは個人的な印象ですので、控えさせていただきたいと思います。

Q5. 最後に、日本徒手療法学会会員の皆さんにメッセージをお願いいたします。

前の質問でも述べましたが、私も最初は受講生でした。St. Augustine 大学の講習会を受講し、より病態について深く考えるようになり、自分の臨床がより良くなったことを経験しています。会員の皆さんにも講習会に積極的に参加されることを望みます。

そして、患者さんの病態について、患者さんのために何が良いのかをよく考え、病態にあった治療を選択し実践していただきたいと思います。

また近年、根拠も証明されてきていますので、最新の論文にも目を通して臨床に繋げていくことが大切であると思います。

第1回日本徒手療法学会 症例発表募集のお知らせ

各位

拝啓 新春の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。例年開催しております症例検討会を今年は学会として開催させていただきたいと思っております。そこで症例発表を皆様から公募させて頂くことに致しました。日頃、担当されている症例の経過や治療場面を Power Point でおまとめ頂き、発表させていただきたく思います。

皆様の積極的なお申込みをお待ちしております。尚、お申込み多数の場合は3~4名を決定させて頂きます。引き続き倍旧のご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

日時:2011年11月6日(日)10:00~16:00 予定

内容:第1回日本徒手療法学会

特別講演 講師未定

症例発表 3~4題

会場:大阪医療福祉専門学校(新大阪駅より徒歩すぐ)

申込み内容:下記申込み先に、『学会 症例発表申込み』と明記の上、パソコンメールより

- ①氏名 ②日本徒手療法学会 会員・非会員 ③所属(施設名、住所、電話番号) ④ご経験年数 ⑤発表を予定している1症例の疾患 ⑥受講経験(S1・2・3・4、E1・2、MF1、認定試験、なし)を明記の上、お申込みください。1週間たっても返信がない場合は、電話連絡を頂きますようお願いいたします。

申込期限:2011年3月1日(火)~6月30日(木)

資料提出期限:2011年9月30日(金)

主催:日本徒手療法学会

申込先:jsmt@kaisei-hp.co.jp

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-6-10

大阪回生病院リハビリテーションセンター内

日本徒手療法学会事務局 増井健二

TEL 06-6393-6234

以上

研修会アナウンス

平成 23 年 5 月 3, 4, 5 日 S2 講習会 予定

開催地:大阪府 大阪回生病院 リハビリテーションセンター

講師:Larry Yack(St.Augustine 大学 S2 インストラクター)

受講料:会員 57,000 円 非会員 60,000 円

平成 23 年 5 月 14 日 急性腰痛(ギックリ腰)と理学療法士の役割

開催地:東京都 臨床福祉専門学校

講師:佐藤 友紀(St.Augustine 大学 S1・S3 インストラクター)

受講料:5,000 円

平成 23 年 脊柱の評価と治療の基礎(S1)

開催地:岡山県 備前病院

講師:佐藤 友紀(St.Augustine 大学 S1・S3 インストラクター)

増井 健二(大阪回生病院)

6 月 11, 12 日 S1① 腰椎

受講料:会員 25,650 円 非会員 27,000 円

7 月 23, 24 日 S1② 仙腸関節・上部胸椎・頸椎

受講料:会員 24,700 円 非会員 26,000 円

平成 23 年 7 月 11-16 日 徒手療法認定試験

開催地:米国 カルフォルニア州 セントオーガスティン大学サンディエゴ校

講師:Paris 他(St.Augustine 大学 インストラクター)

受講料:1ドル 85 円まで 80,000 円 90 円まで 85,000 円

平成 23 年 8 月 27, 28 日、9 月 3, 4 日 S3 講習会

開催地:大阪府 大阪回生病院 リハビリテーションセンター

講師:佐藤 友紀(St.Augustine 大学 S1・S3 インストラクター)

受講料: 会員 50,350 円 非会員 53,000 円

平成 23 年 9 月 16-19 日 四肢の評価と治療(E1)

開催地: 朝日リハビリテーション専門学校

講師:Tuner (St.Augustine 大学 E1 インストラクター)

受講料: 会員 71,250 円 非会員 75000 円

平成 23 年 10 月 8-10 日 骨盤の評価と治療(S4)

開催地:関東リハビリテーション専門学校

講師:Nyberg (St.Augustine 大学 S4 インストラクター)

受講料: 会員 57,000 円 非会員 60,000 円

研修会アナウンス

平成 23 年 脊柱の評価と治療の基礎(S1)

開催地:岐阜県 中村整形外科

講師:佐藤 友紀(St.Augustine 大学 S1・S3 インストラクター)

増井 健二(大阪回生病院)

10 月 23, 30 日 S1①腰椎

受講料:会員 25,650 円 非会員 27,000 円

11 月 27 日、12 月 4 日 S1② 仙腸関節・上部胸椎・頸椎

受講料:会員 24,700 円 非会員 26,000 円

平成 23 年 11 月 6 日 第1回日本徒手療法学会学術大会

開催地:大阪府 大阪医療福祉専門学校(新大阪駅すぐ)

受講料:会員 1,000 円 非会員 3,000 円

平成 23 年 脊柱の評価と治療の基礎(S1)

開催地:石川県

講師:佐藤 友紀(St.Augustine 大学 S1・S3 インストラクター)

増井 健二(大阪回生病院)

11 月 12, 13 日 S1①腰椎

受講料:会員 25,650 円 非会員 27,000 円

11 月 19, 20 日 S1② 仙腸関節・上部胸椎・頸椎

受講料:会員 24,700 円 非会員 26,000 円

平成 23 年 脊柱の評価と治療の基礎(S1)

開催地:大阪府 大阪回生病院

講師:佐藤 友紀(St.Augustine 大学 S1・S3 インストラクター)

増井 健二(大阪回生病院)

12 月 4, 11 日 S1①腰椎

受講料:会員 25,650 円 非会員 27,000 円

平成 24 年 1 月 15, 22 日 S1② 仙腸関節・上部胸椎・頸椎

受講料:会員 24,700 円 非会員 26,000 円

日本徒手療法学会

スタッフ

会長 佐藤友紀

副会長 増井健二

事務局 山田一貫
浦慎太郎

教育研修委員会 橋場貴史
西村直樹

ガイドライン検討担当委員会 生田伸二

学術検討委員会 公森隆夫

広報委員会 内田 武

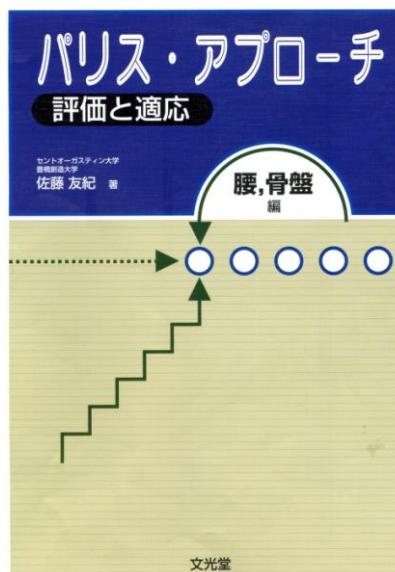
事務局

大阪回生病院
リハビリテーションセンター内
〒532-0003
大阪市淀川区宮原 1-6-10
TEL :06-6393-8264
FAX :06-6393-3509
E-mail: jsmt@kaisei-hp.co.jp

Web サイト

URL: <http://jsmt.jimdo.com/>

書籍紹介



書籍の内容の特徴:

解剖を中心として病態を考えるため、徒手療法の治療手技に固執せず、運動・姿勢指導などの重要性を認識できます。多くの治療法を組みあわせることで徒手療法を効果的にする考えで書かれています。これまで”徒手療法をすれば治る”という誤解を、”徒手療法を治療に組みあわせることで治る患者もいる。長期管理が必要となる患者もいる。徒手療法を組みあわせて患者に接することで予防する”といった総合的な治療を再認識させる書籍であります
今後、続編を出版予定です。

新規入会手続きについて

入会をご希望の方は、下記の手順に沿って手続きを御願いたします。

入会希望者手続き

- ① ホームページ(<http://jsmt.jimdo.com/>) 上より Excel のダウンロード
- ② Excel に必要事項入力
- ③ 年会費(3,000 円) 振込
ゆうちょ銀行 記号 14020 番号 30477041
日本徒手療法学会
他金融機関からの振込み受け取り口座
【店名】 四〇八(読み ヨンゼロハチ)
【店番】 408 【預金種目】 普通預金
【口座番号】 3047704
日本徒手療法学会
- ④ 事務局へメール送信(※入力済みの Excel を必ず添付)
jsmt@kaisei-hp.co.jp

日本徒手療法学会

事務局 大阪回生病院 リハビリテーションセンター内
〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目 6-10
TEL 06-6393-8264 FAX 06-6393-3509
E-mail jsmt@kaisei-hp.co.jp